

洞津名人尺牘卷五

緒飼敬所 名彦博字希文初稱安次郎受業巖垣龍溪近江人住平安晚仕津藩弘化二年十一月歿歲八十五葬古河龍津寺

同彦纘 稱貞吉

小谷巢松 名薰字德孺稱左金吾為津藩儒員嘉永七年三月二日歿歲六十七葬安濃郡神戶村松仙寺

鹽田隨齋 名重華字士鄂一號澤雷醉士稱又之丞伊賀人受業朱世卯為津藩儒員弘化二年二月二十七日歿歲四十八葬江戶田端圓勝寺

園田一齋 名守彝字君兼山田人內宮禰宜荒木田守諸子為醫為儒放浪諸州遂津城嘉永四年九月廿七日歿歲六十七

早崎岩川 名勝任字子信稱新平後改門太夫為津藩儒員明治十九年十一月三十日歿歲八十一葬阿彌陀寺

野村西齋 名世業字大受稱木工藏受業伊藤東所號為己齋文政十年十月廿一日歿歲六十四葬天然寺

鎌田梁洲 名政舉字翔甫稱外記受業巢松明治六年四月一日歿歲六十三葬伊賀名張

妙典寺



鋪田梁洲名政舉字新甫稱文詞受業巖村

明治六年四月一日歿歲六十三葬伊賀名張

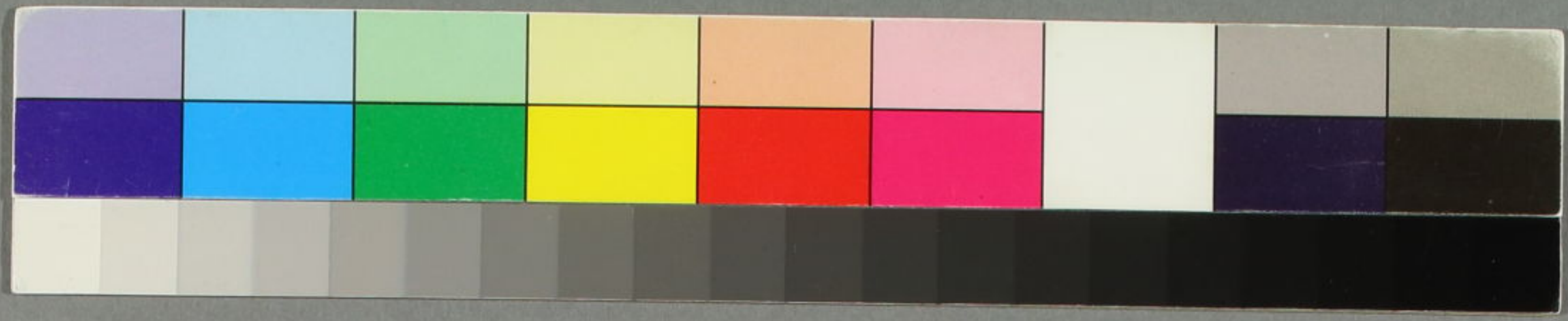
妙典寺

川北梅山名長顯字有字稱新甫受業拙

堂住東京明治三十八年二月三日歿歲八十

四葬青山梅窓院法謚心靜院夢清梅山

居士



口リ

稍留まぬ、と云は侍等
_ては又、幸能非、おそ
_ぬ、乃ち而、此中状、ま
_り、此等、多、此、以、侍
_等、此、下、此、様、ま
_り、右、此、様、の、左、め、侍、等、
_り

と云ふことあり

三宅源義経 猿蓑

と云ふことあり

一、此の物、此の物、此の物、
_り、此の物、此の物、此の物、
_り、此の物、此の物、此の物、

此の物、此の物

此の物、此の物

